芭蕉布

本調子

六七工　尺　中　合中中尺上　合　老上四　工　合　四　老　乙　工
う

みのあ　おさ　に　そらの
合　工　工　合　工五工　合　工尺中　合　中　四　合　四上中　合

あお　みなみの　かぜ
中尺上　合　工　合　乙　老　四　合　四　七　合　七　六　合　六

に　みどりの　ばば
五　合　四　七　工　尺　中　合尺上　四　工　合　四　工　老　乙

しょう　は　なさけ　に　て　を　ま
合乙乙　中　合　尺中上　合　上中尺　合　尺　尺　合　尺　尺　合六

ね　く　ううう　と　こなつ　の　く
五　工　合　工四中　合　中　合　乙　老　四　工　合　四　合　六

に　わしたし　ま　うちな
五　合　四　六七工　尺　中　合中中尺上　合　老上四　工　合　四

上中尺上六七工　尺　中　合中中尺上　合　老上四　工　合　四

一、海の青さに　空の青
　南の風に　緑葉の
　芭蕉は情に　手を招く
　常夏の国　我した島沖縄

二、首里の古城の　石だたみ
　昔を偲ぶ　かたほとり
　実れる芭蕉　熟れていた
　緑葉の下　我した島沖縄

三、今は昔の　首里天ぎゃなし
　唐ヲゥーつむぎ　はたを織り
　じょうのうささげた　芭蕉布
　浅地紺地の　我した島沖縄